（記入例）（様式Ⅱ）　　その１

履　　歴　　書

ふりがな 氏　　名	だいがく　　たろう 大　　学　　太　　郎	男・女	現 住 所	〒***-***** 大分市×××●丁目●番地●●	（写真）
生年月日 （年齢）	昭和●●年●●月●●日（●●歳）		連 絡 先 電話番号 E-mail	0**-***-**** ******@***.**.jp	

学　　歴

年　　月	事　　項
昭和●●．●	○○県立○○高等学校　　卒業
●●．●	○○大学○○学部○○学科　　入学
平成●●．●	同　　上　　卒業
●●．●	○○大学大学院○○研究科　　入学
●●．●	同　　上　　修了

学　位・免　許・資　格

年　　月	事　　項
平成●●．●	学士（○○学）（○○大学）
●●．●	○○免許（第○○○○○○号）
●●．●	博士（○○学）（○○大学○○第○○○号）

※ 学位を必ず記載してください。
平成３年３月までは○○学士，○○博士，それ以降は学士（○○），博士（○○）となりますので注意願います。

職　　歴

年　　月	事　　項
平成●●．●	○○大学○○医学部○○学　　助手
●●．●	○○研究所　　研究員
●●．●	○○大学○○医学部○○学　　准教授
	現在に至る

賞　　罰

年　　月	事　　項
平成●●．●	日本○○学会○○賞　受賞

上記のとおり相違ありません。

令和●●年●●月●●日

氏　　名　　大　学　太　郎　　大学印

注）１　年齢は，任用予定年月日で記載してください。
　　２　「学歴」欄は，高校卒業以後のすべての学歴について記入してください。
　　３　「職歴」欄は，職歴のすべてについて記入し，職名，地位等についても明記してください。
　　４　「写真」欄は，大分大学教員の場合は不要です。

（様式Ⅱ）　　その２

氏　　名　　大　学　太　郎

学会及び社会における活動等（所属学会；役職等）	
年　　月	事　　項
平成〇〇年　〇月	日本△△科学会　　会員
平成〇〇年　〇月	◎◎◎◎科学会　　評議員

（様式Ⅲ－１）

提出年月日 令和○○年○○月○○日

業 績 目 録

学位論文,原著,症例報告,総説,著書等,主要学会での発表の別に
類別毎にまとめて，古いものから発表順に記載してください。

氏 名　大 学 太 郎

類 別	著者名（発表者名）全員の氏名を記載順に記入し，本人の氏名にアンダーラインを付してください。 また，すべての corresponding author の左上端に「*」印をつけてください。 学位論文（題目･誌名･巻・初頁～終頁･年・インパクトファクター），原著（題目･誌名･巻・初頁～終頁･年・インパクトファクター・査続の有無），症例報告（題目･誌名･巻・初頁～終頁･年・インパクトファクター・査続の有無），総説（題目･誌名･巻・初頁～終頁･年・インパクトファクター・査続の有無），著書等（分担項目名･書名･初頁～終頁･発行所･年・査続の有無），主要学会での発表（題目･会名･年；シンポジウム･特別講演等の別）
学位論文	○　*大学太郎. ○○○○○における△△△△の形態計測的研究 ―××××学的所見との関係― 臨床神経　20:31-39,1982
原著	1　*大学太郎. ○○○と△△△△との関連. 九州神経精神医学　7：263－266，1992　査続：有無 2　*Daigaku T., Oita J., Monka S. Stemlin he･････of ････ DNA in he･････ carcinoma. Am.J.Surg.Pathol. 10：789－794，1994.（IF:○○）査続：有無 ③　#Oita J., #Daigaku T., Monka S. Human uuu･･･ imm･･･RNA････factor･･･ cancer cells. J. Cancer 19：452-458，1995.（# equal contribution）（IF:○○）査続：有無 ④　Oita J., Monka S., *Daigaku T. Abnormal hu･････ imm･･････ to mu･･････Stimu･･･　in ････ with lung cancer. Cancer 69：2252-2257，1996.（IF:○○）査続：有無 ⑤　*大学太郎. ○○○○からみた薬剤の△△と××法：髄膜炎（○○性・△△性・×××性). 医学と薬学　22：801－809，2001. 査続：有無
症例報告	1　*大分二郎，大学太郎，文科省一. ○○○○を認めた△△△△硬化症の２例. 神経内科　31：104－108，1993. 査続：有無
総説	1　Oita J.，Daigaku T. ○○性△△炎. ×××科ハンドブック（山田◇◇編），150－250，南江堂，東京，1992. 査続：有無 ②　*大学太郎，大分二郎. Port･････ sh････････. Pit･･ and Comp･･･ in the Dia･･ Disease　(ed. by N.J.Ly････ and M.Ma･･････), 475－484，Georg Thieme Verlag,N Y,1993. 査続：有無
著書等	1　Daigaku T., Monka S. Mucosal･･････････ against bacterial ････････ in the nose. ⅦⅤ World Congress of ････gy Head and Neck Surgery,Round Table, 1989，Madrid，Spain. 査続：有無
学会発表	1　大学太郎，山田花子，文科省一 ○○○○○領域レーザーサーミア臨床の△△△△に関する研究. 第×回レーザーサーミアシンポジウム　1995.8.　犬山市. 2　大学太郎，○○○○○における△△△△△と×××××の変動について. 第○○回臨床△△学会総会　1998.10. 千葉市. 一般演題　上記ほか○○回
その他	1　大分二郎，大学太郎，文科省一. ○○○○を行う△△△△システムの検討. 神経内科　31：104－108，1993.

（全ての業績）

原　著　　７７編（和文５０編，内ファーストオーサー１７編）
（欧文２７編，インパクトファクター計○○点）
（内ファーストオーサー　８編，インパクトファクター計○○点）
（内コレスポンディングオーサー　２編，インパクトファクター計○○点）

症例報告　　１０編（和文　５編，内ファーストオーサー　２編）
（欧文　５編，インパクトファクター計○○点）
（内ファーストオーサー　１編，インパクトファクター計○○点）
（内コレスポンディングオーサー　０編，インパクトファクター計○○点）

総　　説　　２５編（和文１５編，内ファーストオーサー　７編）
（欧文１０編，インパクトファクター計○○点）
（内ファーストオーサー　８編，インパクトファクター計○○点）
（内コレスポンディングオーサー　１編，インパクトファクター計○○点）

著 書 等　　３０編（和文２０編，内ファーストオーサー１５編）
（欧文１０編，内ファーストオーサー　５編）

そ の 他　　２編（和文　２編，内ファーストオーサー　１編）
（欧文　０編，内ファーストオーサー　０編）

シンポジウム，特別講演等　２５回（内トップネーム　２０回）
一 般 演 題　　国際学会　３０回（内トップネーム　２５回）
国内学会　５０回（内トップネーム　３９回）
地方学会　１５回（内トップネーム　１２回）